

# 若者ミーティングからの提案

---

- 01 若者ミーティングの概要 … P2
- 02 若者に関する調査の結果について … P3
- 03 検討過程 … P4～P5
- 04 提案 … P6～P11
- 05 今後の取組み … P12
- 06 資料編 … 資-1～資-27

## 01 若者ミーティング設置の目的

新たな担い手世代や若者世代が積極的にまちづくりに関わる中で、若者に対する支援や取組、まちづくりへの参画の仕組みづくりについて検討する「若者ミーティング」を令和6年5月に設置

### 若者ミーティングの構成



庁内の各部署の  
若手職員12人



市にゆかりのある  
若者 若干名

## 02 若者ミーティングの主な活動

### Action01 若者への取材

『興味・関心、不安・悩みのあること』や『若者に関する取組として重要と思うもの』についてアウトリーチ型で取材を行った。(延べ19箇所、計215人)

#### 主なアウトリーチ先

- ✓ 武蔵野大学キャンパス @学生ホール
- ✓ 早稲田大学キャンパス @スポーツフェスタ
- ✓ 東伏見夏祭り大会2024
- ✓ 東町商栄会夏祭り
- ✓ 商工会青年部会

### Action02 若者ミーティングにおける検討

計10回のミーティングを開催し、各テーマに沿ったディスカッション等を実施(市にゆかりのある若者 延べ27人参加)

#### 主なテーマ

- ✓ アウトリーチの質問項目について
- ✓ 若者が市政に参画しやすくなる工夫・きっかけについて
- ✓ 若者世代が市に求めていることについて
- ✓ 若者世代が求める経済的な支援について

### Action03 意見交換会の実施

包括連携協定先の若手社員との意見交換会を計2回実施

### Action04 事例等の研究

- 近隣自治体が行き組む若者施策の調査研究 (就職支援、地域活性、情報発信、経済的な支援等)
- 国や都が行き組む若者施策の調査研究 (国の修学支援新制度、都の少子化対策の施策等)

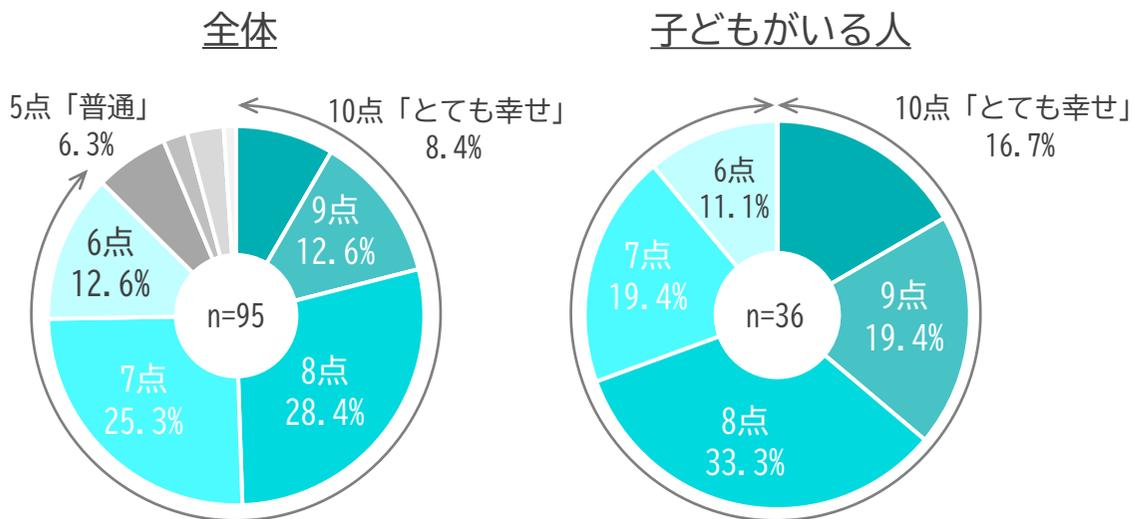
## 03 スケジュール

5月～9月	10月	11月	12月	1月
若者世代が市に何を求めているか <b>アウトリーチ(情報収集)期間</b>	支援や取組、まちづくりへの参画の仕組みづくりの検討 <b>検討期間</b>			
アウトリーチ調査(各種イベント等)	課題の整理 (取組・参画)	取組等の検討	取組等の整理	報告書のとりまとめ
アンケート(市政モニター制度等を活用)			アンケート(市政モニター制度を活用)	

## 若者に関する調査の結果について

### 市政モニター

あなたは、今、どの程度幸せですか。



平均点 7.28点

87.4%が6点以上をマーク

平均点 8.11点

100%が6点以上をマーク

### 市政モニター

現在あなたが不安なことや不足していると思うことはありますか (複数選択可) n=95

1位	経済的な安定(収入や貯金など)	47.4%
2位	将来への希望や見通し	43.2%
3位	時間的なゆとり	26.3%

### 市政モニター

### アウトリーチ調査

### 庁内アンケート等

の合算

若者に関する市の取組として、あなたが重要と思うものは何ですか (最大3つまで選択)

全体の回答 (n=492)

1位	子育て支援に関すること	59.8%
2位	交通・移動のしやすさに関すること	28.7%
3位	公共施設の充実に関すること	22.4%

子どもがいる人の回答 (n=151)

1位	子育て支援に関すること	88.1%
2位	交通・移動のしやすさに関すること	29.1%
3位	公共施設の充実に関すること	28.5%

子どもがいない人の回答 (n=341)

1位	子育て支援に関すること	47.2%
2位	交通・移動のしやすさに関すること	28.4%
3位	公共施設の充実に関すること	19.6%

### 検討が必要なポイント

- 「経済的な安定」や「将来への希望や見通し」に不安や不足を感じている若者が多い  
→経済的支援策や不安の軽減策について課題として検討していくこととした
- 「子育て支援に関すること」について子どもがいる人・いない人に関わらず重要と考える若者が多い  
→幸せ(ウェルビーイング)につながる取組として検討を進める

若者世代が市に求めていることについて

テーマ	現状の把握・課題の整理	目指すべき方向性
<p>① 子育て支援に関する こと</p> <p>② ボランティアや地域 活動の機会の充実に 関すること (ゆかりのある若者 から)</p> <p>③ 若者の自立に関する こと (ゆかりのある若者 から)</p>	<p>若者は一定の幸せを感じているが、漠然とした不安を抱えている</p> <p><b>現状1：情報の不足</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どこに相談したらいいかわからない</li> <li>子育てに係る行政サービスの情報や若者が利用できる公共施設・居場所の情報が十分に届いていない</li> <li>人生の選択を自分事として考える機会やタイミングがなく、結果として結婚や出産などの時期を逸してしまっている</li> </ul> <p><b>現状2：地域の人とのつながりの不足</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子育て中や有事の際に、相談できる同じ境遇の若者や人生の先輩などが周りにおらず孤独感や不安感がある</li> <li>地域コミュニティに参加すると抜けられなくなるイメージがある</li> <li>どのような活動をしているかわからず、参加しづらい</li> </ul> <p><b>現状3：経済的な不安</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもは欲しいが、所得や家計の状況などの経済面での不安から、二の足を踏んでいる</li> <li>行政からの支援が不十分な子育て前の新社会人を対象にした経済的な支援策があると安心して次のライフステージに挑戦することができる</li> </ul>	<p>不安の軽減に向けた取組</p> <p><b>方向性1：気軽に相談できる環境がある</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>分かりやすい相談窓口</li> <li>利用しやすい相談窓口</li> </ul> <p><b>方向性2：市の取組が認知されている</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自然と目に入りやすい媒体や場所での情報発信</li> <li>公共施設や居場所に訪れてみたくなる仕掛け</li> <li>若者の興味を引く市の取組を紹介する冊子の作成</li> </ul> <p><b>方向性3：自分の理想の将来像がイメージできる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>将来のライフプランを考える機会</li> <li>行政サービスの情報や金融の知識が得られる機会</li> </ul> <p><b>方向性4：地域に緩やかなつながりがある</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>しがらみを感じにくいコミュニティづくり</li> <li>時間や場所にとらわれないオンライン上でのつながり</li> <li>オンライン上でのつながりからデジタルとリアルの連携</li> </ul> <p><b>方向性5：チャレンジできる環境がある</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ライフイベントによる経済的な負担の軽減</li> <li>行政支援が不足している層への経済的な支援</li> </ul>

若者のまちづくりへの参画について

テーマ	現状の把握・課題の整理	目指すべき方向性
<p>① 市に対する意見表明</p> <p>② 市主催イベントへの参画</p> <p>③ 地域主催イベントへの参画</p>	<p>地域活動やまちづくり活動に参画している若者が少ないが、参加してみたいという若者は比較的多い</p> <p><b>【市政モニター結果・若者調査結果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>9割近くの若者がまちづくり活動に参加していない</li> <li>参加している若者も約半数が市外での活動</li> <li>現在参加していないが、参加する時間やきっかけがあれば、参加してみたいという若者が75%以上いる</li> </ul> <p><b>現状1：きっかけがない</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どのようなまちづくり活動があるか分からない</li> <li>市報による広報では在勤・在学を含む市民に届いていない</li> </ul> <p><b>現状2：参加しづらい</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>知らない人たちの集まりに1人では参加しづらく、誘える人も周りにいない</li> <li>学生も巻き込みたいのであれば、委員の期間や開催時間帯にも配慮すべき</li> <li>行政のイベント＝固い・楽しくないイメージが先行している</li> <li>イベントの内容や規模感が分からない</li> </ul> <p><b>現状3：参加しても続かない</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>同世代の参加者が少なく、継続して参加したいと思わない</li> <li>自分の意見が反映されているか分からず参加意欲がなくなる</li> </ul>	<p>まちづくりへの参画の取組</p> <p><b>方向性1：きっかけづくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>在学・在勤を含む市民にも参加してもらうための広報戦略</li> <li>楽しそうなチラシの作成など周知の段階での工夫</li> <li>市の取組と組み合わせることで行政との関わりが少ない若者にきっかけを提供</li> </ul> <p><b>方向性2：参加しやすい環境づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>タイパやコスパを意識した参加しやすい環境づくり</li> <li>若手職員が表舞台に立ち、若い人でも参加していい、活躍できることをプロモーション</li> <li>過去のイベントや行事の様子を発信</li> <li>開催時間帯や委員の期間への配慮</li> </ul> <p><b>方向性3：新たな成り手・担い手の発掘・育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>若者がまちづくり活動の成り手・担い手になることで、新たな若者を呼び込む</li> <li>やりがいや社会貢献の実感による継続的な参加</li> <li>まちへの愛着</li> </ul>

不安の軽減に向けた取組

方向性1：気軽に相談できる環境がある

- ・ 分かりやすい相談窓口
- ・ 利用しやすい相談窓口

提案：若者を対象とした相談の充実

1. 若者を対象とした窓口の設置

若者からの最初の相談を受ける窓口を設置し、不安や悩みを丁寧に聞き取り、必要な情報提供や相談窓口を案内する

若者を対象とした窓口



必要な情報提供や  
相談窓口の案内

就職

生活

子育て

健康など

- ・ 市役所との関わりが少ない若者にも分かりやすく、気兼ねなく利用してもらえるように窓口の名称を「若者応援窓口」などとする
- ・ 若者は自治体の取組をインターネットで検索することが多い部署や窓口、取組や施策の名称に「若者」の文言を入れることで、ヒットしやすくなり、若者の取組に力を入れている自治体であることがアピールできる

西東京市 若者応援窓口

検索

不安の軽減に向けた取組

方向性2：市の取組が認知されている

- ・ 自然と目に入りやすい媒体や場所での情報発信
- ・ 公共施設や居場所に訪れてみたくなる仕掛け
- ・ 若者の興味を引く市の取組を紹介する冊子の作成

まちづくりへの参画の取組

方向性1：きっかけづくり

- ・ 在学・在勤を含む市民にも参加してもらうための広報戦略
- ・ 楽しそうなチラシの作成など周知の段階での工夫

提案：市の取組等の積極的な情報発信

1. 市の取組等に関するPR

若者に親しみのあるSNS等による周知と併せて、リアルな体験機会を創出する

工夫・アイデア

- ・ 市の取組についてPR動画を作成し、若者に親しみのあるYouTubeや自然と目に入りやすい駅前ビジョンで発信することで、若者が参画できるまちづくりを進めていることなど市の取組を積極的にアピールする
- ・ シティロゲインや謎解きなどのイベントを開催し、公共施設や居場所となるスポットを実際に訪れてもらい親しみを持ってもらう

2. 子育てハンドブック等を活用した若者向けの情報発信の充実

市の子育てに関する取組がまとめられている子育てハンドブックに若者が興味を持ちやすい特集記事などを掲載し、子育てをする前から子育てに関する市の情報を取得しやすい環境を作る

工夫・アイデア

- ・ 実際に市内で子育て等を経験された方のリアルなエピソード等を掲載することで出産後も市内に住み続けるイメージを持ってもらう
- ・ 若者が集まる居酒屋などのスペースに子育てハンドブックのデータに遷移するQRコードを置く

他市事例

- ・ 狛江市…写真やイラストを使いながら相談内容に応じた窓口の情報や市内の居場所等を紹介する冊子を発行（「狛江市若者支援ガイド」）
- ・ 世田谷区…大学生・若手社会人などのメンバーで企画・取材等を行い、施設の紹介や役に立つ支援情報をまとめた冊子を発行（「Cheer！～わかものライフガイド～」）

不安の軽減に向けた取組

### 方向性3：自分の理想の将来像がイメージできる

- 将来のライフプランを考える機会
- 行政サービスの情報や金融の知識が得られる機会

### 提案：ライフプランを考える機会の充実

#### 1. 将来のライフプランを考える機会の提供

自分なりの希望や選択肢を思い描き実現するために必要な情報等を得られる環境を整備し、将来のライフプランを考える機会を提供する事業の検討に当たり、民間企業等との公民連携や専門的な知識を有する大学のノウハウ等の活用に向けて調整を図る

工夫・アイデア

- 近い世代の様々な若者とのワークショップを通して意見交換を行い、異なる価値観に触れることで、自身の将来についての解像度を高めることができる
- ライフプランを考える際に、行政サービスや経済的な支援の情報、金融の知識などの自分の理想の将来像の実現に向けてもう一步踏み出すのに役立つ情報を併せて提供することで、より具体的・現実的なイメージを描きやすくなる

公民連携・大学等との調整

- 生命保険会社等によるプログラムの構築・提供、講師の派遣などの協力が得られないか調整を図る
- ファイナンシャルプランニング等のカリキュラムを構築している大学と連携して、オリジナルの金融リテラシー教材等の作成を協働できないか調整を図る

## ライフプランニング事業の他団体の事例

### ライフデザインのワークショップ；京都府

自分の今後の人生を主体的に決定し、具体的な行動を起こすことにつなげることが目的

ライフイベントに関わる費用や公的支援制度等を年代ごとに可視化できる人生年表ワークシート（ライフデザイン広報啓発冊子「京都生き方ログ」）を作成し、ライフデザインをサポートする

### 金融リテラシー教材を用いたワークショップ；沖縄県

生命保険会社が提供する金融リテラシー教材等をもとに、収入・結婚・就職・子どもの人数・自宅の購入等について具体的に条件を設定し、自らのライフプラン表を作成するロールプレイング形式のワークショップを実施する

経済的な理由から結婚が難しいと考える若者に対しては、結婚することによって光熱費等の共通経費の負担を軽くすることができる可能性に触れ、誤解や知識不足からくる結婚に対するネガティブイメージの払拭を図る

### プレコンセプションケアのセミナー；姫路市

知らないうちに人生の選択肢を狭めてしまうことがないようにプレコンセプションケアの内容をセミナーに取り入れ、男女ともに性や妊娠・出産に関する正しい知識を身に付け、人生設計を逆算的に行っていくことの重要性を伝える

## 不安の軽減に向けた取組

### 方向性4：地域に緩やかなつながりがある

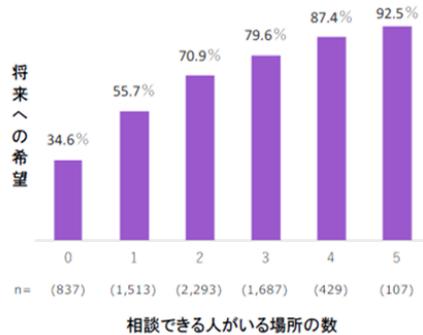
- ・ しがらみを感じにくいコミュニティづくり
- ・ 時間や場所にとらわれないオンライン上でのつながり
- ・ オンライン上でのつながりからデジタルとリアルとの連携

### こども・若者に関する調査研究等（令和4年度内閣府調査）

- ① 家族・親族 ② 学校で出会った友人 ③ 職場・アルバイト関係の人  
④ 地域の人 ⑤ インターネット上における他者 の中で  
相談できる人がいる場所の数が多いほど「将来への希望」「今の幸福度」  
「チャレンジ精神」「社会貢献意欲」が高くなる傾向がある

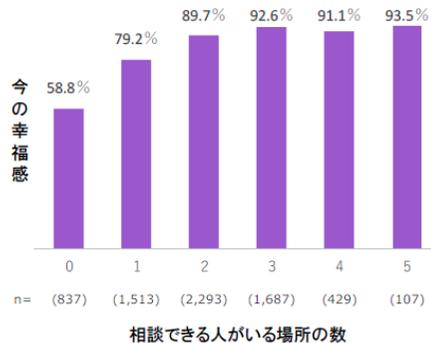
#### 将来への希望

（自分の将来について明るい希望を持っている）



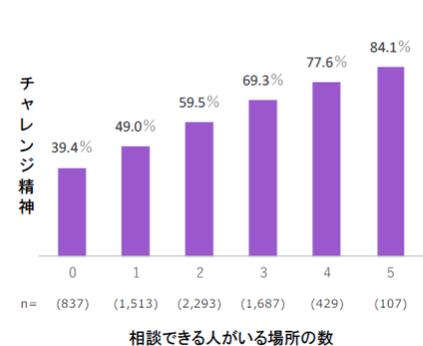
#### 今の幸福感

（今、自分が幸せだと思う）



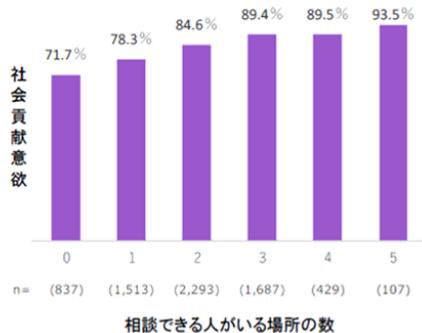
#### チャレンジ精神

（うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む）



#### 社会貢献意欲

（社会のために役立つことをしたい）



## 提案：若者のコミュニティの構築

### 1. オンライン上でのつながり

最初は参加や退出が比較的自由なオンライン上でのつながりを作る  
同じエリアに住む人同士で双方向でやりとりができるSNSアプリ（プラットフォーム）を活用する



#### 連携協定先（株式会社PIAZZA）のSNSアプリ

暮らしに関する情報のやりとりや困ったときの相談、使わなくなったモノの譲り合い、ご近所コミュニティの形成や参加など、地域やまちの人たちが気軽に簡単に繋がることを支援するアプリ

連携に関する協定締結日：令和3年12月8日

#### ユーザー数を増やす工夫・アイデア

- ・ 市公式SNSや市内大学、成人式での周知を行う
- ・ 各課が実施するイベント等について積極的に投稿することで、SNSアプリのコンテンツの価値を高める

### 2. 地域でのリアルなつながり

オンライン上でのつながりから、地域コミュニティ等とのマッチングにより  
地域でのリアルなつながりに繋げる

#### リアルなつながりに向けた取組

- ・ 地域コミュニティが集まる会議等（市民説明会など）の場でSNSアプリを周知し、積極的に活用してもらう

## 不安の軽減に向けた取組

### 方向性5：チャレンジできる環境

- ・ ライフイベントによる経済的な負担の軽減
- ・ 行政支援が不足している層への経済的な支援

## まちづくりへの参画の取組

### 方向性1：きっかけづくり

- ・ 市の取組と組み合わせることで行政との関わりが少ない若者にきっかけを提供

## まちづくりへの参画の取組

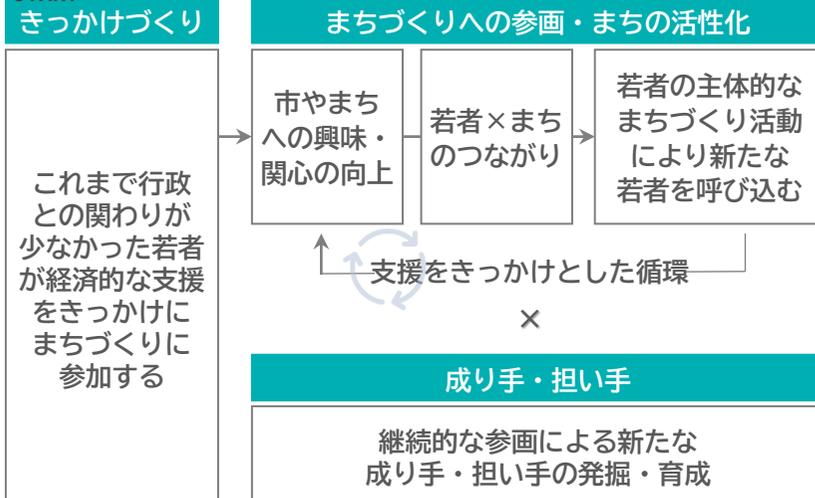
### 方向性3：新たな成り手・担い手の発掘・育成

- ・ 若者がまちづくり活動の成り手・担い手になることで、新たな若者を呼び込む

## 検討の視点

市長の政策の柱である「若者のまちづくりへの参画」やまちの活性化と取組（支援）を組み合わせることで将来のまちづくりへの投資に繋げる（支援の循環）

START



## 重点的なターゲット

学生

- ✓ 国の修学支援新制度や奨学金制度など学びの保障に関する経済的な支援メニューが広く利用されている
- ✓ 親元で生活する場合、生活費に関する経済的な困窮は一定程度回避される

新社会人

### 重点的なターゲット

行政からの支援が不足している期間であり、経済的な不安を感じ、次のライフステージに挑戦することを躊躇する若者がいる

- ✓ 結婚等に伴うライフイベントなど経済的な負担が同時に生じる
- ✓ 奨学金の返還がスタート
- ✓ 税金、社会保険料の納付がスタート

妊娠期

- ✓ 不妊治療費助成や出産育児一時金など、経済的な支援策が充実している

子育て期

- ✓ 国や東京都では、少子化対策の一環として、児童手当や保育料の無償化、各種給付金など、子育て世代に対する経済的な支援策が充実している
- ✓ 市としても子どもがど真ん中の政策を打ち出しており、学校給食の無償化を実施するなど、子育て世代に対する経済的な支援策が充実している

## Q 市政モニターより

「家計の状況」について現在の充実度・満足度を回答してください

※満足している2点、やや満足している1点、やや不満である△1点、不満である△2点として集計

【結果（加重平均）】※社会人は学生以外の若者

学生：+0.62点

社会人：△0.16点

家計の状況について  
学生よりも社会人の方が  
充実度・満足度が低い

## 1. 住居費等の助成

結婚を機に西東京市に転入又は市内転居した若年夫婦に対し、住宅賃借費用や引越し費用などの住居費の助成を行うことで、経済的な負担軽減を図り、若者の次のライフステージへの挑戦を後押しする

子ども家庭庁のアンケート結果より（令和6年8月）

- 結婚に伴う経済的不安として住居費を思い浮かべる若者が最も多い

住宅・土地統計調査より（令和5年10月）

- 25歳～34歳の西東京市の平均家賃は26市中9番目に高い

## 2. 奨学金の返還支援

奨学金を返還する若者を対象に、返還額の一部を市が支援することで、経済的な負担軽減を図り、若者の次のライフステージへの挑戦を後押しする

（独）日本学生支援機構 令和4年度学生生活調査結果より

- 大学学部（昼間部）において何らかの奨学金を受給している割合は55.0%
- （独）日本学生支援機構の奨学金の平均貸与総額及び平均返還年数  
第1種奨学金：216万円、14年 第2種奨学金：337万円、17年

- 工夫・アイデア
- 制度設計のプロセスに「まちづくり活動に参加すること」などの申請条件を設けることで、若者が参加するきっかけを作ることができる
  - まちづくり活動への参画に応じたポイント加算を行うなど、若者が継続して参画する仕組みづくりが必要
  - 市内外に若者支援の取組を推進していることをアピールすることで、若者の移住・定住によるまちの活性化が期待できる

## 経済的な支援事業の他団体の事例

### 青梅市結婚新生活スタートアップ応援事業費補助金

婚姻した夫婦に対し、婚姻に伴う新生活に要する費用の一部を補助することにより、当該夫婦の経済的な負担を軽減するとともに、少子化対策および移住・定住促進を図ることを目的に実施

住宅取得費用、住宅賃貸費用、引越費用、リフォーム費用にかかった、実際の支出額が対象で、補助上限額は最大60万円  
※夫婦の年齢、市外からの転入など条件により補助上限額が変動

### 八王子市定住促進奨学金返還支援事業

大学等の卒業に伴う若年層の社会減を抑制し、市内への定住を促すとともに、市内企業等の人材確保を支援するため、大学等を卒業後に就業する者で、奨学金の返還を行うものに対して支援金を交付する事業

- 前年に返還した奨学金の1/2を支援する（最大5年間）
- 就職先が市内の場合、上限額を増額

#### きっかけづくり

経済的な支援をきっかけとしたまちづくりへの参加

×

#### まちの活性化

若者の移住・定住によるまちの活性化

×

#### 成り手・担い手

継続的な参画による成り手・担い手の発掘・育成

## まちづくりへの参画の取組

### 方向性2：参加しやすい環境づくり

- ・ タイパやコスパを意識した参加しやすい環境づくり
- ・ 若手職員が表舞台に立ち、若い人でも参加していい、活躍できることをプロモーション
- ・ 過去のイベントや行事の様子を発信
- ・ 開催時間帯や委員の期間への配慮

### 提案：若者が参加しやすい環境の整備

## 1. タイパやコスパを意識した設計

現代の若者は効率（タイムパフォーマンス）や費用対効果（コストパフォーマンス）を重視している。まちづくり活動には「時間がかかりすぎる」「成果が見えにくい」といった課題があり、若者が参加を敬遠する一因になっている

タイパやコスパを重視した設計を意識することで、若者が無理なく、かつ魅力を感じながら参加できる環境を作り、まちづくりの活性化を図る

### 工夫・アイデア

- ・ ワークショップ等の目的を明確にし、オンラインで1～2時間以内で完結するなどスピーディーなプログラムを実施する
- ・ 参加者からのアイデアや意見などを速やかにSNSや市HPに投稿し、参加者が自分の成果が発信されていることを実感できるようにする
- ・ 若手職員が表舞台に立ち、若者でも活躍できる魅力ある活動であることをプロモーションする
- ・ 活動された実績は「まちづくりボランティア証」などとして発行し、活動されたことを活かせる仕組みを検討する

## 2. 活動の透明性とスケジュールの配慮

活動の透明性を向上させ、若者の参加への不安や懸念を軽減させる。また、学業や仕事と両立しやすい柔軟なスケジュールリングを意識する

### 工夫・アイデア

- ・ 過去のまちづくり活動の様子や参加者の声などをSNS等で発信
- ・ 学業や仕事と重ならない夜間・休日の時間帯にオンラインとの併用で開催
- ・ プロジェクト単位での短期参加など、負担の少ない委員期間を設定

## まちづくりへの参画の取組

### 方向性3：新たな成り手・担い手の発掘・育成

- ・ やりがいや社会貢献の実感による継続的な参加
- ・ まちへの愛着

### 提案：若者ミーティングの実施

## 1. やりがいや社会貢献の実感が得られる若者ミーティング

若者がまちづくり活動に継続的に参画するためには、活動を通じて「やりがい」や「社会貢献の実感」が得られることが重要

若者が意見を自由に交換しながら、具体的な成果を感じられる場として「若者ミーティング」を継続して実施する。若者ミーティングを単なる意見交換の場にとどめず、実際の行動や成果へとつなげる取組とすることで若者の継続的な参画を促進する

### 工夫・アイデア

- ・ メンバーが市政やまちづくり活動等について学ぶ機会を作る
- ・ 若者ミーティングからの意見をもとに実行可能なプロジェクト等を推進する。メンバーもプロジェクトに参加する  
Ex. 市のPR動画の作成、子育てハンドブックの作成など

### 若者ミーティングメンバーの声



#### 市にゆかりのある若者

- ・ 若者同士で出し合った意見等が報告書に反映されてやりがいを感じることができた

#### 市の若手職員

- ・ 若者世代が何に興味や関心があるかアウトリーチを通じて知ることができた
- ・ さまざまな地域イベントに参加し、地域コミュニティについて肌で感じることもできた

提案	短期（１年程度）	中期（２年～３年程度）	長期（５年～）
若者を対象とした相談窓口の設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織の検討に併せて設置</li> </ul>		
市の取組のPR	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者が参画できるまちづくりを進めていることを積極的にアピールするPR動画を作成・配信する</li> <li>・シティロゲイン等のイベントの検討</li> <li>・子育てハンドブックの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他自治体での取組等を参考に子育てハンドブックを活用した若者向けの情報発信の充実、定期的な見直し等</li> <li>・若者支援ガイド等の作成の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てハンドブックの定期的な見直し等</li> </ul>
ライフプランニング事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者のニーズについて調査</li> <li>・ニーズに合った実施手法の検討</li> <li>・民間企業、大学との調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民連携や大学連携等を活用した取組の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民連携や大学連携等を活用した取組の実施</li> </ul>
若者のコミュニティの構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で活躍する若者との意見交換</li> <li>・包括連携協定先の株式会社PIAZZAとSNSアプリの活用促進に向けた調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で活躍する若者と意見交換</li> <li>・リアルでのつながりの創出に向けた、SNSアプリの活用促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で活躍する若者と意見交換</li> </ul>
経済的な支援策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者を対象とした実態調査の実施</li> <li>・実態調査を踏まえた制度設計の検討</li> <li>・成り手・担い手の発掘・育成に向けた仕組みづくりの検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の実施</li> </ul>
まちづくりへの参画の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイパ・コスパを意識した参画手法の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者が参加しやすい環境の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者が参加しやすい環境の充実</li> </ul>
若者ミーティング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期開催</li> </ul>

# 資料編



市内のイベント等に出向き、延べ19箇所に計215人に

「興味・関心、不安・悩みのあること」や「若者に関する取組として重要と思うもの」

を取材しました

## 主なアウトリーチ先

### 大学キャンパス

- ✓ 武蔵野大学キャンパス  
@学生ホール
- ✓ 早稲田大学キャンパス  
@早稲田スポーツフェスタ

### 夏祭り大会等

- ✓ 谷戸音頭納涼盆踊り大会
- ✓ 東伏見夏祭り大会2024
- ✓ 田無納涼盆踊り大会
- ✓ 東町商栄会夏祭り
- ✓ 柳盛会柳沢北口商店街祭礼

### その他イベント

- ✓ FC東京(西東京の日)  
@味の素スタジアム
- ✓ 放課後カフェ  
@柳沢中学校 ほか

武蔵野大学キャンパス



東町商栄会夏祭り



FC東京 (西東京の日)





## アウトリーチでのヒアリング内容

～215人から延べ301件の意見を伺いました～

## ヒアリング対象者

	学生	社会人	無職	合計
10代	73人	1人	-	74人
20代	45人	20人	-	65人
30代以上	-	63人	13人	76人
合計	118人	84人	13人	215人

子育て支援に関すること	82件
金銭的支援	20件
子どもの預かり先の充実	11件
子育て関係施設の充実	12件
情報発信の充実	6件
将来や現状に対する不安	5件
イベントの開催	7件
少子高齢化	3件
コミュニティ支援	3件
教育の充実	2件
その他	13件
自身の学習の充実に関すること	4件
資格助成	3件
学習への助成	1件
就職に関すること	16件
就職活動に関すること	8件
情報に関する意見	3件
その他	5件
結婚に関すること	1件
結婚時の金銭的支援	1件
公共施設の充実に関すること	16件
公共施設の新規設置への要望等	10件
既存公共施設への要望等	4件
その他	2件
みどりや公園の充実に関すること	15件
公園に関する意見	10件
その他	5件
商店街・産業の振興に関すること	21件
地域の活性化等	12件
若者が遊ぶ場所	6件
買い物	3件
文化・芸術の振興に関すること	6件
文化・芸術イベントの充実等	6件

スポーツの振興に関すること	9件
スポーツとの関わり	4件
スポーツ施設の充実	5件
まちの美化・景観に関すること	10件
ごみに関すること	6件
まちの美化・景観によるまちの発展	3件
その他	1件
ボランティアや地域活動の機会の充実に関すること	13件
ボランティアの機会創出	7件
地域活動の充実	5件
コミュニティの高齢化	1件
交通・移動のしやすさに関すること	45件
市内の移動について	18件
市外への移動について	7件
交通に関して安全を求める意見	15件
道路の整備を求める意見	5件
防犯・防災に関すること	20件
防犯に関する意見	11件
防災に関する意見	9件
若者の自立に関すること	10件
補助金・給付金などの支援について	6件
場所や機会の提供について	4件
福祉の充実に関すること	8件
介護に関する制度の充実	3件
その他	5件
人権啓発の推進に関すること	1件
人権に関すること	1件
生活等の相談に関すること	1件
一人暮らしへの不安	1件
その他	19件
市の広報について	5件
その他	14件
特に求めている	4件



## 「子育て支援に関すること」計82件

### ● 金銭的支援（計20件）

1	子育て支援ではお金が給付されると嬉しい。	10代	女性	学生
2	現在通っている薬学部では多額の学費がかかるので援助してほしい。	20代	女性	学生
3	子育てしづらいと感じるので、自治体単位で力を入れてほしい。金銭的支援を充実させてほしい。	20代	女性	学生
4	簡単にもらえる育児に係る手当が欲しい。	20代	女性	会社員・公務員
5	子供の習い事などの金銭的な補助をしてほしい。	40代以上	女性	アルバイト
6	出産や子育てに関する補助を手厚くしてほしい。	30代	男性	会社員・公務員
7	結婚を機に西東京市に移住したが、西東京市の魅力は子育てのしやすさや暮らしやすさなので、もっと出産祝い金や結婚祝い金など近隣の市と差をつけて、若者人口を増やしていくことがウェルビーイングにつながるのではないかと。	30代	女性	その他
8	支援するにも実態に即した支援の仕方をして欲しい。子育て用品を購入した場合に助成されるなどの支援策があってもいいと思う。	10代	女性	学生
9	親になったことを考えたときに、手当が少なく不安が多い。	10代	女性	学生
10	将来、就職できたとしても子育てしていくには金銭的に不安があるので支援してほしい。	20代	その他	学生
11	子育てにはお金がかかるため、支援金や給付金等があると良い。	20代	その他	学生
12	幼少期、武蔵野市に住んでおり、病院代が無料であったので西東京市でも同じ制度を取り入れてほしい。	10代	その他	学生
13	塾や習い事に対する補助があったら嬉しい。	40代以上	女性	その他
14	練馬区のように医療費を無料にしてほしい。 また、大学までの学費が無料になるなど大胆な取組を展開しないと、とても子どもをつくれないうし、結婚も安心してできない。	40代以上	女性	アルバイト
15	保育園に係る補助・手当をもっと充実させてほしい。	30代	女性	無職
16	子どもの医療費を無料にしてほしい。	30代	女性	会社員・公務員
17	塾や習い事に対する補助があったら嬉しい。	40代以上	女性	その他
18	大学に係る資金を援助してくれる施策があるといい。	40代以上	女性	アルバイト
19	出産費用や高校・大学の進学に係る費用などお金の面で心配がある。	20代	女性	学生
20	大学の授業料等の無償化を実施することで、学問に興味がある人だけではなく、今後子どもを育てる人への負担も軽減され、多方面で良い効果が出ると思う。	10代	男性	学生



## 「子育て支援に関すること（前ページからの続き）」

## ● 子どもの預かり先の充実（計11件）

1	保育園の待機児童などを改善してほしい。	20代	女性	会社員・公務員
2	自分自身が子育てをしているときに、保育園になかなか入れなかったり、無償でなかったために費用の面で苦労した。若い世代が子どもを作ることにリスクや不安を感じてしまわないようにしてほしい。18歳まで面倒見てくれるような環境があると良いと思う。	30代	男性	自営業
3	将来子育てすることを考えたとき、保育施設などが充実していると良い。	10代	男性	学生
4	将来、働きながら子どもを保育園へ通わせることを想定しているが、待機児童などが不安である。	20代	その他	学生
5	保育園や学童が少なく、いつも枠が埋まっているイメージ。保育園は家から遠くの園に通っていた。	40代以上	男性	会社員・公務員
6	保育園への入園がなかなか叶わず苦労している。現在、仕事をしていない配偶者が働くためには、保育園への入園が必要であるが、働いていないために指数が足らず、入園できていない。誰もが保育園に預けられ自由に働けるようにしてほしい。	30代	男性	会社員・公務員
7	保育園などが充実していると子育てしやすいと思う。	20代	男性	会社員・公務員
8	共働きは子どもの預かり環境が整っていないと厳しい。	20代	女性	会社員・公務員
9	共働きだと子どもを預けられる環境が整っていないと厳しい	30代	男性	自営業
10	子どもの体調が悪くなった時などに預けられる環境が整っているとうれしい。	30代	男性	会社員・公務員
11	子どもが3人おり、保育園に預けたいが現状共働きがほぼ必須条件となっていて、預け先がなく困っているから。	30代	男性	自営業

## ● 子育て関係施設の充実（計12件）

1	子育てに関する施設を増やしてほしい。	10代	その他	学生
2	児童を対象とする施設が少ないと感じている。	10代	男性	学生
3	子ども達が遊べる場所が少なくなっていると感じている。	20代	女性	学生
4	子どもの遊び場などが不足していると思う。	20代	女性	学生
5	夏休み中の子どもの居場所がない。屋内で涼めるところを周知してほしい(小学生は一人で電車に乗れないため)。また、友だちとのびのび遊べる場所があるといい。科学館などの子ども向けの公共施設を充実させてほしい。	40代以上	女性	アルバイト
6	暑い時期に遊べる屋内施設が少ない。児童館や図書館が近くにあるといい。	30代	女性	会社員・公務員
7	子どもたちの遊び場やママさん達が集まれるところが少ない。	20代	女性	会社員・公務員
8	子どもたちがスマホだけを見るような生活にならないように、行政として何か遊び場の提供や公園の整備などをしてほしい。	20代	女性	会社員・公務員
9	夏休みに子どもが遊べる施設がない。暑すぎて公園では遊べなくなっているので、室内で運動できるスペースを解放してほしい。	30代	女性	会社員・公務員
10	武蔵野市では、放課後以降も学校で子どもたちを面倒みてくれる制度があるので、そのようなサービスがあると嬉しい。	30代	女性	無職
11	学童とまではいなくても、スポットで預けられるボランティアの人が学校にいとありがたい。	30代	女性	無職
12	子どもが夏休みに入ると普段と生活リズムが変わってしまい親の勤務に影響が出てしまう。学童は朝9時からスタートだが、8時半からにするなどして夏休み期間でも普段と変わらないようにしてほしい。	30代	女性	アルバイト



## 「子育て支援に関すること（前ページからの続き）」

### ● 情報発信の充実（計6件）

1 子育てに関する制度や情報が必要としている人に届いていない。	20代	女性	学生
2 将来、子どもを持ちたいと考えているが、子育て世帯も気軽に情報が分かるツールが充実すると良い。（市公式LINEは見ている）	30代	女性	会社員・公務員
3 子育てについて相談できる場所が周知されているといい。	20代	男性	会社員・公務員
4 子育てに関する情報をもっと欲しい。前住んでいた清瀬市では、郵送などで子育てに関する情報が届き、助かっていた。	40代以上	女性	自営業
5 子育て支援の情報について自発的に調べない限り、どのような制度があるか分からず問題であると思う。	30代	男性	会社員・公務員
6 どのような支援メニューがあるのかそもそもわからない。十分に周知されていないと感じる。	30代	女性	アルバイト

### ● 将来や現状に対する不安（計5件）

1 子育てに漠然とした不安がある。	10代	男性	学生
2 将来、子育てするのに漠然とした不安がある。	10代	女性	学生
3 子育てしづらい風潮が学生にも蔓延していると感じている。	10代	女性	学生
4 支援金や保育施設の充実より、出産後も安心して子育てができる風潮や安心感が欲しい。そもそも自分の子どもが将来にわたって持続的に安心して暮らせる社会なのかが疑問である。	20代	女性	学生
5 自分が子育てしていく中で不安なことが多いと感じる。	30代	男性	会社員・公務員

### ● イベントの開催（計7件）

1 小学生が1人でも参加できるような大規模になりすぎない、ちょっとしたイベントを開催してほしい。	40代以上	女性	アルバイト
2 子どもが楽しめるイベントを増やしてほしい。	30代	男性	会社員・公務員
3 小さい子どもが参加できるイベントや地域が繋がることのできるようなイベントを実施してほしい。	30代	女性	会社員・公務員
4 ママたちの居場所や相談できる場所、集まれるイベントがもっとあると良い。	30代	女性	会社員・公務員
5 西東京市外に住んでいるが、西東京市は親子で参加可能なイベントや遊び施設が豊富にあると感じる。	40代以上	女性	無職
6 早稲田スポーツフェスタのような親子で参加可能なイベントがあると住んでいて楽しいと思える。	40代以上	男性	会社員・公務員
7 子どもと一緒に参加可能な市主催のイベントがあると安心して参加することができる。	40代以上	女性	会社員・公務員



## 「子育て支援に関すること（前ページからの続き）」

### ● 少子高齢化（計3件）

1 日本の将来を考えた際に、少子高齢化がどうしたら改善されるのか考えることが重要である。	10代	男性	学生
2 少子化が進んでいるので、子育て支援については重要と思っている。	10代	女性	学生
3 現在、日本の少子高齢化が進行しており、問題だと思っている。	10代	男性	学生

### ● コミュニティ支援（計3件）

1 自分が子育てしていく中で、地域のコミュニティが希薄化していて困ることがある。	20代	男性	会社員・公務員
2 子育て世帯同士など同じ境遇にある人たちと関われる機会が豊富にあると嬉しい。	40代以上	女性	自営業
3 学童以外に居場所となるようなコミュニティがあると安心して預けられる。	30代	女性	無職

### ● 教育の充実（計2件）

1 以前、武蔵野市に住んでおり、小学4年生のときに1週間の修学旅行があっても良かったので西東京市でも実施してほしい。	10代	その他	学生
2 給食のアレルギ情報への申請に対する承認に時間がかかることや、PTAの廃止などが話題に上がることが多く、改善してほしいと感じている。	30代	女性	アルバイト

### ● その他（計13件）

1 子どもへの支援が18歳未満のみということに驚いた。	10代	女性	学生
2 子どもに関心があるため子育て支援が重要だと感じている。	10代	その他	学生
3 「子育てばつ」という言葉を聞いて子育てにネガティブなイメージがあるため、子育て支援が重要だと感じている。	10代	女性	学生
4 子育てに関することなどを気軽に相談できる窓口(ネットや匿名などで)がほしい。	30代	男性	会社員・公務員
5 子どもを産む・育てる環境を整えてあげることが必要だと思う。	10代	女性	学生
6 保育士を志望しているが、保育士の残業等の労働環境に不安がある。労働者に対する支援を充実してほしい。	10代	女性	学生
7 自分が住んでいるところは子育て支援に力を入れているため、他の地域でも重要と考える。	10代	女性	学生
8 これから子どもを持つことを想定すると子育て支援は重要だと思うから。	20代	女性	会社員・公務員
9 これから結婚を考えていく上で子育て支援は拡充してほしい。	20代	男性	会社員・公務員
10 子育て世代なので興味・関心がある。	30代	男性	会社員・公務員
11 子育て支援について具体的な何かを思いついていないわけではないが、充実することで住みやすさに繋がると思う。	30代	男性	会社員・公務員
12 漠然としているが、子育て支援に物足りなさを感じる。平均気温が上がっているため、子供が外で遊ぶための暑さ対策支援をしてほしい。	30代	女性	無職
13 子どもが英検や漢検を受験しているが、受験会場が遠方にしか設置されていないため、市内に誘致してほしい。また、資格受験に係る補助があるとありがたい。	40代以上	女性	アルバイト



## 「自身の学習の充実に関すること」計4件

### ● 資格助成（計3件）

1 市役所で資格の勉強会のようなものが開催されていたら参加してみたい。	10代	女性	学生
2 就職活動にあたり、業種や職種について全体像を説明してくれる機関があると助かる。	20代	女性	学生
3 FPなどの資格を取得したいため、市に受験料等を補助して欲しい。	40代以上	女性	アルバイト

### ● 学習への助成（計1件）

1 勉強とアルバイトの両立がなかなかできず、貯蓄ができていないことについての不満を感じている。	20代	女性	学生
---	-----	----	----

## 「就職に関すること」計16件

### ● 就職活動に関すること（計8件）

1 就職活動が不安。市として就職(合同説明会のようなイベント)を主催してほしい。	10代	女性	学生
2 就職してから実際に役に立った資格などを実際に働いている人から聞ける場が欲しい。	20代	女性	学生
3 就職活動にあたり、業種や職種について全体像を説明してくれる機会があると助かる。	20代	女性	学生
4 近場である市内への転職を考えているが、給料が安く決めきれない。	20代	男性	会社員・公務員
5 大学外でも就活支援センターがあるといい。	20代	女性	学生
6 就職は自分に直接関わるため、もっとも興味や不安がある。	10代	男性	アルバイト
7 市が主催する合同セミナーなどを実施してもらえると助かる。	20代	男性	学生
8 就職の情報が手に入る就職説明会などを増やしてほしい。	10代	その他	学生

### ● 情報に関する意見（計3件）

1 就職に関する情報を自発的に探すのが手間なので、情報を拡散してくれる機会があるとよい。	10代	男性	学生
2 教員を目指しているので、公務員がどんなものか興味がある。	10代	女性	学生
3 自治体ごとに就活の情報発信に差があるように感じる。居住地で公平さに偏りが出ないようにして欲しい。	20代	女性	学生

### ● その他（計5件）

1 就活して就職し、仕事するのが今から憂鬱である。	10代	女性	学生
2 就職において働き甲斐を大事にしたいので就活に興味関心がある。	10代	男性	学生
3 留学生向けの就職支援があると良いと思う。	20代	その他	学生
4 留学生で就職の情報を得るのが難しかったことから、留学生向けの就労支援等があるといいと思う。	20代	その他	学生
5 大学を卒業した後の進路をどうするか今から不安である。	10代	男性	学生



## 「結婚に関すること」計1件

### ● 結婚時の金銭的支援（計1件）

1 結婚する時に、補助金などの支援があるとよい。	20代	女性	学生
--------------------------	-----	----	----

## 「公共施設の充実に関すること」計16件

### ● 公共施設の新規設置への要望等（計10件）

1 公共施設については、スポーツジムなどが充実していると良い。	30代	男性	会社員・公務員
2 無料で利用できる子どもが遊べたり勉強したりできるスペースがある施設があると嬉しい。	40代以上	女性	会社員・公務員
3 学生が気軽に無料で滞在できる公共施設があると良い。	20代	その他	学生
4 多摩六都科学館のような、子ども向けの公共施設を充実させてほしい。	30代	男性	会社員・公務員
5 児童向けの施設が少ないと感じている。	10代	男性	学生
6 全体的に子どもの遊び場や勉強できる場所が少ない。	40代以上	女性	無職
7 西東京市は他市に比べて自習室が不足していると思う。	10代	女性	学生
8 公共施設全般が減少傾向にあると感じている。 将来自分の子どもが若者世代となったときに、公共施設が不足していると不安である。	40代以上	女性	会社員・公務員
9 子どもの人数や市民は増加しているのに、公共施設の量が一定であるため、市民一人当たりの面積を増加させて欲しい。	20代	女性	学生
10 コミュニティセンターのようなコワーキングスペースを利用したいが、利用者が常連だったりして入りにくいので、カフェのような若者が入りやすい空間を作ってほしい。	10代	男性	学生

### ● 既存公共施設への要望等（計4件）

1 夏休みに子どもが遊べる施設がないため、既存施設に運動できるスペースを解放してほしい。	30代	女性	会社員・公務員
2 夏場は暑すぎて子どもが運動できる場所がない。 未就学児にも学校や市の施設を開放して運動や走り回って遊ぶことができるスペースを確保してほしい。	40代以上	女性	会社員・公務員
3 図書館など誰でも利用できる施設をさらに充実させてほしい。	20代	男性	会社員・公務員
4 公民館、図書館を武蔵野プレイス(武蔵野市)や南部地域センター(東久留米市)のように豪華にしてほしい。	10代	女性	学生

### ● その他（計2件）

1 図書館はよく利用していて、最寄りの図書館で予約した本の受取りが可能であるので、仕事帰りにも便利である。	30代	男性	会社員・公務員
2 外国からの留学生であるが、自分のようなマイノリティがある人も気兼ねなく公共施設を利用できるようにしてほしい。	20代	男性	学生



## 「みどりや公園の充実に関すること」 計15件

### ● 公園に関する意見（計10件）

1	公園を増やしてほしい。	10代	その他	学生
2	みどりや公園など子どもが遊べるところがたくさんあると良いと思う。	10代	女性	学生
3	公園等がたくさんあると良いと思う。	20代	その他	学生
4	公園を作してほしい。	10代	女性	学生
5	西東京市まで通学する際に、武蔵野市には大きな公園があるのに西東京市には行きやすい大きな公園がないと感じた。	10代	女性	学生
6	ボール遊びができる公園が少なすぎる。その影響があるのか、中高の部活での運動部所属がかなり減っていて、文化部に加入する比率が増えている。その結果、子どもの運動能力低下につながっていると思う。	10代	男性	学生
7	公園に毛虫がたくさん出るので安心して遊ばせることができない。	30代	女性	アルバイト
8	公園のトイレをきれいにしてほしい。	20代	女性	学生
9	公園の遊具が破損していて危険で遊ばせられない。早く修繕してほしい。	30代	女性	会社員・公務員
10	ボール遊びができる公園が少ないため、道路でボール遊びをしている子どもがいて危ない。	30代	女性	会社員・公務員

### ● その他（計5件）

1	子ども達が遊べる場所が少なくなっている。	20代	女性	学生
2	子どもの遊び場が増えるといいと思う。	20代	女性	学生
3	子どもの遊び場などが不足していると思う。	20代	女性	学生
4	自分が小中高の学生だったとき、学校の近場で遊べる場所が欲しかった。	10代	女性	学生
5	緑道の草の匂いが気になる。	20代	女性	学生



## 「商店街・産業の振興に関すること」 計21件

### ● 地域の活性化等（計12件）

1 「西東京市はこんな市だ」という自慢できるものが他区市に比べ少ないと感じる。	30代	男性	自営業
2 商店街のイベントなどのスタッフや資金面でのサポートを手厚くしてほしい。	40代以上	女性	自営業
3 消防団や田無商業協同組合など地域のコミュニティに属しているが、若者の加入が少ないため、活気がない。何かきっかけがないと加入には至らないため、学校を絡めるとかお祭りに来たところに声掛けをするとか工夫をしていかないと感じている。ただし、地域コミュニティの活性化を市にサポートできるのかは懐疑的である。	30代	男性	自営業
4 まちの景観をきれいにすることで人がたくさん集まり、商店街・産業が栄えれば、まちの経済が潤い、より良いまちづくりにつながると思う。	20代	その他	学生
5 シャッター商店街が目立ってきたので、もう少し活性化すればいいと思っている。	30代	女性	会社員・公務員
6 漠然とはあるが、市全体の活気が不足していて、栄えていないと感じる。	30代	女性	会社員・公務員
7 商店街に若者にとっての魅力がもっとあるとよい。	30代	男性	自営業
8 地域イベントの開催など、もっとまちが盛り上がる施策があるとよい。	20代	女性	学生
9 お洒落な喫茶店等が駅前に多い中央線沿いの地域に魅力を感じる。西東京市も中央線沿いのまち開発を参考ににぎわいづくりに力を入れてほしい。	20代	女性	学生
10 保谷駅の北口は飲食店や公共施設が少ないため、活気がないように感じる。	20代	女性	学生
11 商店街が主催する子どもが参加可能なイベントがあると市全体が盛り上がると思う。	40代以上	女性	会社員・公務員
12 部活帰りにも立ち寄ることができる、夜遅くまで営業しているチェーン店を増やしてほしい。	20代	女性	学生

### ● 若者が遊ぶ場所（計6件）

1 ひばりヶ丘駅は南口に対して北口のお店等が少ない。また、ひばりヶ丘駅にはカラオケが少なく、料金も高い。	10代	男性	学生
2 市内にファミレス、喫茶店が少ないため、友達と遊ぶときは市外に出て遊んでいる。	20代	女性	会社員・公務員
3 保谷駅にスターバックスカフェなどの友達と遊べるところをもっと増やしてほしい。	10代	女性	学生
4 保谷駅周辺にカフェが欲しい。友達と過ごすスペースがない。	10代	女性	学生
5 子どもと一緒にいけるようなカフェがほしい。	30代	女性	会社員・公務員
6 三鷹駅をよく利用するが、学生が遊ぶところがなく寂しい。	20代	男性	学生

### ● 買い物（計3件）

1 市内の買い物ができる場所を増やしてほしい。	20代	女性	学生
2 近隣にお店が少なく買い物が不便である。	10代	女性	学生
3 大型スーパーをもっと増やしてほしい。日常生活を便利にしたい。	30代	女性	会社員・公務員



## 「文化・芸術の振興に関すること」計6件

### ● 文化・芸術イベントの充実等（計6件）

1	ギターが趣味なので、音楽イベントがあったらもっと市が盛り上がると常々感じている。前は市内でもサマーフェスティバルをやっていたので、またやってほしい。	30代	男性	自営業
2	誰でも自分の作品等が出展できるような場所があるとよい。	10代	女性	学生
3	子どもに文化庁が主催している日本舞踊や日本画を体験させている。そのような習い事的なものを市でやってくれると嬉しい。	40代以上	女性	その他
4	多文化共生に興味があるが、そのようなイベントに参加したことはないのでぜひ参加してみたい。	30代	男性	会社員・公務員
5	美術館に行きたいけどメジャーなところしか分からない。市で施設を広報し、チケットの無料配布などあればぜひ行ってみたい。	20代	男性	会社員・公務員
6	文化・芸術は自ら触れにいかないと、なかなか接する機会がなくハードルを高く感じてしまっている。アンダー30歳を対象とした観劇費用の一部負担(割引)などをしていただくと、若者が気軽に文化芸術に触れる機会が増えると思う。	20代	女性	学生

## 「スポーツの振興に関すること」計9件

### ● スポーツとの関わり（計4件）

1	若者がスポーツに触れるきっかけづくりを市にやってほしい。スポーツ関係の情報発信を強化してほしい。	10代	男性	学生
2	運動の必要性を感じているが、つい休んでしまうので、運動のコミュニティ等があれば参加してみたい。また見つけやすくなるといい。	30代	男性	自営業
3	スポーツについての情報は、有料のコンテンツばかりなので無料コンテンツでも発信してほしい。	20代	その他	学生
4	スポーツ系のイベントで面白そうなイベントがあれば参加してみたい。	30代	男性	会社員・公務員

### ● スポーツ施設の充実（計5件）

1	スポーツ施設を増やしてほしい。	20代	女性	学生
2	運動ができる施設を増やしてほしい。	10代	女性	学生
3	運動施設や遊び場を自分たちで確保することが難しいので、運動ができる場所を増やしてほしい。	10代	男性	学生
4	運動するためにスポーツセンターに通っていたが自宅から遠かった。運動できる施設を家の近くにほしい。	30代	女性	会社員・公務員
5	普段は多摩湖自転車道をランニングしているが、信号があるので、もう少し走ることに集中できる環境があるといい。	30代	男性	自営業



## 「まちの美化・景観に関すること」計10件

### ● ごみに関すること（計6件）

1	道路に落ちてるごみが気になる。	10代	男性	学生
2	西東京市で1人暮らしを始めたが、まちの汚れ(落ちてるごみ等)が気になっている。	10代	男性	学生
3	駅周辺にポイ捨てのごみが目立っている。加えてごみが多いことによる治安の悪化も不安である。	10代	女性	学生
4	駅前などへのごみのポイ捨てが気になるので清掃してほしい。	20代	女性	会社員・公務員
5	ごみを分別しない人が多い。特にペットボトルのごみに他のごみが混ざっていることが多い。	20代	男性	学生
6	普段、清掃活動に参加している。ごみを道端に捨てる人が減らないと感じているため、今後も継続していく必要があると認識している。清掃活動の機会が増えてほしい。	10代	男性	学生

### ● まちの美化・景観によるまちの発展（計3件）

1	漠然としているが、景観をよくすることで、もっとまちが盛り上がると思う。	20代	女性	学生
2	まちを美化し、景観をきれいにすることで人がたくさん訪れるようになる。その結果、まちの経済が潤い、より良いまちにつながると思う。	20代	その他	学生
3	もっときれいな街並みだといいなと思った。	30代	女性	会社員・公務員

### ● その他（計1件）

1	建物に興味があるので、歴史的な建造物等を大事にしてもらいたい。	10代	その他	学生
---	---------------------------------	-----	-----	----



## 「ボランティアや地域活動の機会の充実に関すること」計13件

### ● ボランティアの機会創出（計7件）

1	ボランティアに参加できる機会をもっと増やしてほしい。	10代	女性	学生
2	ボランティアに興味はあるが、踏み出す勇気がない。機会があれば参加したい。	10代	女性	学生
3	子どもに関わることでできるボランティアや地域活動があれば参加したいと思う。	20代	その他	学生
4	ボランティアに参加してみたいが、参加したことはない。何かきっかけがあれば参加してみたい。	20代	女性	学生
5	大学等で、市のボランティア活動の周知をしてほしい。子ども食堂の活動に協力・参加したい。	20代	男性	学生
6	周りにボランティアをしたいという人が多いが、学生ということもあり、原資がなく参加できていない。	10代	女性	学生
7	介護士を目指しているので、福祉関係のボランティアに参加してみたい。	10代	男性	学生

### ● 地域活動の充実（計5件）

1	小さい子どもが参加できるイベントや地域が繋がることができるようなイベントが欲しい。	30代	女性	会社員・公務員
2	他市から西東京市内の大学に通っているが、他の市から来ようと思えるような楽しいイベントを開催してほしい。 1人でも参加できるようなイベントだと参加しやすい。	10代	男性	学生
3	職業体験できるイベントの開催をしてほしい。	10代	女性	学生
4	地域のサークル形式のコミュニティに参加してみたい。両親が地域コミュニティに参加してるので小さい時からお祭りなどは手伝っていた。	10代	男性	学生
5	同じ境遇をもった人たちと関われる機会があると嬉しい。	40代以上	女性	自営業

### ● コミュニティの高齢化（計1件）

1	地域コミュニティの高齢化が著しいので、市の職員も協力して運営してあげてほしい。若い職員が入って、地域の若者とのつながりを持てるようになるとさらに良いと思う。	30代	女性	会社員・公務員
---	--	-----	----	---------



## 「交通・移動のしやすさに関すること」計45件

### ● 市内の移動について（計18件）

1 大学まで通学手段がバスしかなく、不便で困っている。	10代	男性	学生
2 遠距離から大学まで通学しているため困っている。	10代	女性	学生
3 大学の立地が駅から離れていて通学するのに不便で不満がある。	10代	女性	学生
4 路線バスの本数が減少したので増やしてほしい。	20代	女性	学生
5 バスの路線を増やしてほしい。	20代	女性	学生
6 交通の便がもっと良くなると思った。	10代	女性	学生
7 バスの本数が減少していて通学に不便を感じている。	10代	男性	学生
8 田無駅周辺の駐輪場が少ない。特に土日は駐輪する場所がない。	40代以上	女性	会社員・公務員
9 南北の移動に不便があるので、バスの本数を増やしたり路線を高架化したりして改善してほしい。	30代	男性	自営業
10 西東京市の南北の移動に非常に不便を感じている。	10代	女性	学生
11 南北の移動が大変なので、交通の利便性を向上してほしい。	20代	男性	会社員・公務員
12 通学するのに移動手段が少なく不便を感じる。移動手段に関して何か支援があれば嬉しい。	10代	男性	学生
13 バスのルートがなくなってしまって南北の移動に困難さを感じている。	20代	女性	会社員・公務員
14 車がないので、南北の移動がすべて自転車となり、暑い中大変である。	30代	女性	会社員・公務員
15 市内は役所を含めてどこも駐車場が有料で使用しにくい。また、道も狭い。特にひばりヶ丘駅周辺が酷い。	40代以上	女性	その他
16 踏切で待たされることが多く不便だと感じる。	30代	男性	自営業
17 自動二輪車(バイク)用の駐車場が市内に少ない。	20代	女性	学生
18 はなバスのルートが変更され、保谷駅へのアクセスが悪くなってしまった。元に戻してほしい。	30代	女性	会社員・公務員



## 「交通・移動のしやすさに関すること(前ページの続き)」

### ● 市外への移動について (計7件)

1 地方に住んでいる為、車などの移動手段がないと不便である。バスや電車などの交通網を充実させてほしい。	20代	男性	学生
2 都心に出るための交通機関の充実に期待している。	10代	男性	学生
3 電車が止まると困るので移動手段を充実させてほしい。	20代	女性	学生
4 電車でのアクセスが便利な点で住みやすいと思う。	20代	男性	会社員・公務員
5 交通・移動手段に困難さを抱えている。睡眠不足に陥っているため、時間のかからない移動手段を整備してほしい。	20代	その他	学生
6 公共交通機関などを充実してほしい。	20代	女性	会社員・公務員
7 保谷駅に急行が停車するようになってほしい。	20代	男性	会社員・公務員

### ● 交通に関して安全を求める意見 (計14件)

1 駅のホームがせまい。ホームドアを設置してほしい。	20代	男性	会社員・公務員
2 人通りが多いのに危険な道がある。	20代	女性	学生
3 谷戸町にあるフラワー通りの道が狭く、歩道もないため危険である。	10代	男性	学生
4 西東京市は道が狭いうえに、十字路にカーブミラーがないため、頻繁に車両同士が接触しそうになるのを見かける。	20代	男性	学生
5 田無駅を利用するが周辺の道が狭く、危険なときがある。	30代	男性	会社員・公務員
6 道が狭いところがあり危険で通りづらい。	20代	女性	会社員・公務員
7 歩道や路側帯を通る自転車が多いうえに道路が狭いため、歩いていて怖い思いをすることがある。	20代	女性	会社員・公務員
8 西東京市に転入してきて、前の自治体より道が狭く感じた。道路を歩いていて車との距離感が怖く感じることもある。自転車で移動できると便利だと思うが上記の理由から躊躇している。	20代	男性	会社員・公務員
9 道が狭くて一通が多いので危険な思いをしている。	20代	男性	学生
10 大学周辺の道が狭く、歩行者に優しくない。	10代	女性	学生
11 フラワー通りの道が狭い。危ない思いを何回もしている。	10代	男性	学生
12 車道に塗装した自転車専用レーンをしっかり確保し、幅員を一定程度確保しないとかわって自転車の危険が増えると思う。ドライバー目線からは、歩道を拡幅し、歩行者と自転車のレーンを分けた方が危険が少ないと思う。	20代	女性	学生
13 保谷駅前の道路が狭く、安心して子どもを連れて歩けない。自転車も多いため接触しないかいつもヒヤヒヤしている。	30代	女性	無職
14 保谷駅周辺は道路が狭くて危ないので何とかしてほしい。	40代以上	男性	会社員・公務員



## 「交通・移動のしやすさに関すること(前ページの続き)」

## ● 道路の整備を求める意見 (計6件)

1	道が狭すぎて緊急車両が進入できず困っているのを見かけたことがある。緊急時にはタクシーなどを利用して狭い道でも迅速に患者を搬送できる体制を整えてもらえると安心である。(ライドシェアのイメージ)	10代	男性	学生
2	道が狭くて困ることがある。	10代	女性	学生
3	道がボコボコしている所があるので整備してほしい。	20代	女性	学生
4	道が狭くて緊急車両が入れない道路が多数存在している。	20代	男性	学生
5	ベビーカーだと移動しづらい道がある。	30代	女性	会社員・公務員
6	道の狭さや地面の凹凸が気になる。	20代	男性	会社員・公務員



## 「防犯・防災に関すること」計20件

### ● 防犯に関する意見（計11件）

1	市内には暗い道が多くて、一人で歩くのが怖いと感じることがある。街灯を増やしてほしい。	10代	女性	学生
2	道が暗い。	20代	女性	学生
3	夜間は駅から離れると街灯も少なく、女性が一人で歩くには不安な道が多い。	10代	女性	学生
4	近隣の交番は夜にパトロール等で人がいないことが多く、ほぼ機能していない。	20代	女性	学生
5	防犯対策の啓発はイベント時だけでなく日常的に実施することで安全と感じる。	30代	男性	会社員・公務員
6	物騒なSNS(喧嘩・窃盗等)を投稿する人が埼玉県から西東京市に移り住んでいる。自警団や防犯などを取り締まる組織づくりに力を入れてほしい。	10代	女性	学生
7	暗い道が多く、不審者情報をよく聞くので怖い思いをしている。	30代	女性	無職
8	一人暮らしの学生であるため、夜道に一人だと不安である。街灯や防犯カメラの増設をお願いしたい。	20代	女性	学生
9	保護者が有志で集団パトロールを実施しているが、個別に連絡して日程調整等をしている。学校や市が実施主体となって、誰でも参加可能な仕組みにしてほしい。特に文理台公園の近くで不審者情報が多く出るので、集中してパトロールしてほしい。	30代	女性	アルバイト
10	外国籍の方が増加しているが、声が大きく感じ怖い思いをすることがあり不安である。	20代	女性	学生
11	住宅街に住んでいるが、不審者情報を周辺で聞くことが多い。パトロールの強化などをお願いしたい。	40代以上	女性	無職

### ● 防災に関する意見（計9件）

1	自宅から大学が遠いので、地震や災害が発生した時に帰れなくなりそうで怖い。	20代	男性	学生
2	震災や自然災害に対する漠然とした不安を感じる。	20代	女性	学生
3	備蓄の場所がちゃんとわかるようにしてほしい。また避難所だけでなく各自宅に配るなどしてもらえると助かる(東日本大震災の時に困った)。	30代	男性	自営業
4	何かあったときに動けるよう地域の防災訓練を定期的実施してほしい。	10代	男性	学生
5	能登半島地震もあり、防災について興味がある。自分が住んでいる地域で災害が起こった時にどんな補助が受けられるか気になる。	20代	女性	学生
6	災害が発生したときに、備蓄品が人数分あるのか不安に思っている。	20代	男性	学生
7	最近火事があったため、木造住宅などの火災による飛び火が心配である。	20代	男性	学生
8	防災イベント(火災体験など)があると災害に備えられる。	40代以上	女性	その他
9	居住しているマンション組合において食料やテントなどの備蓄をしているが、3日分の用意しかないので不足しないか不安である。近隣の避難所にどれくらい備蓄品があるのか不安である。	20代	男性	学生



## 「若者の自立に関すること」計10件

### ● 補助金、給付金などの支援について（計6件）

1	ギフトカードなどの一人暮らしの学生向けの支援をしてほしい。	20代	女性	学生
2	バイトをしてもお金が足りない。	10代	女性	学生
3	一人暮らしをするために貯金をしている。若者の自立を支援する制度があると嬉しい。	10代	女性	学生
4	一人暮らしの金銭面で不安がある。	20代	女性	学生
5	資金的な面で若者にも支援してほしい。(補助金など)	20代	女性	会社員・公務員
6	金銭的な支援・補助がほしい。	10代	女性	学生

### ● 場所や機会の提供について（計4件）

1	創業セミナーの開催、登記ができるコワーキングスペースや貸しスペースの設置(OK西東京のようなものを増やしてもいいと思う)、創業時の家賃補助、オンラインによる副業相談などを積極的に実施してほしい。 自分は商工会のメンバーと知り合ってつながりが広がっていったので、商工会に所属する人を増やしていくべきだと思う。	30代	男性	自営業
2	仕事で独立の希望があるが不安を感じている若い世代が多いイメージがある。独立支援に関する情報提供(アピール)をもっとしてほしい。	30代	男性	自営業
3	一人で暮らしていくことに不安がある。相談できる場所があるとよい。	20代	男性	学生
4	人と人のつながり、団体と団体のつながりをもっと行政が担ってほしい。	20代	男性	学生

## 「福祉の充実に関すること」計8件

### ● 介護に関する制度の充実（計3件）

1	同居の家族が高齢になった時の介護費用が心配である。今後、若者世代が支えていくことに対する不安がある。	30代	男性	会社員・公務員
2	高齢の祖母の介護をしながら生活しているが、何か困ったことがあったときに、こちらの事情も理解して個別に相談に乗ってくれる制度や窓口があってほしい。	10代	男性	学生
3	将来、介護等を考えると福祉を充実させてほしい。	20代	男性	会社員・公務員

### ● その他（計5件）

1	福祉制度によって助けられる人が限られているため、制度を充実させてほしい。	10代	男性	学生
2	所属する大学の学部・学科で、福祉に関する授業を取り扱っており、興味を持っている。	10代	その他	学生
3	子どもの医療費など負担が少ない自治体があると聞いたことがあり、将来を考えたときそういった自治体であってほしい。	10代	女性	学生
4	少子高齢化であるため、福祉制度は充実してほしい。	10代	男性	学生
5	医療福祉について充実しているといいなと思うが、医療福祉に関する市の取組については知らない。	20代	男性	学生



## 「人権啓発の推進に関すること」 計1件

### ● 人権に関すること（計1件）

- 1 外国人への差別がない街であることを望んでいる。

20代 その他 学生

## 「生活等の相談に関すること」 計1件

### ● 一人暮らしへの不安（計1件）

- 1 今は大学生で両親と暮らしているが、今後社会人になり、一人で自立して暮らしていくことに不安があるため、相談できる場所があると安心する。

20代 男性 学生

## 「その他」 計19件

### ● 市の広報について（5件）

- 1 市の情報は市報で知ることが多い。

20代 女性 学生

- 2 市の情報はポストに投函される市報やチラシを見る機会が多い。

20代 男性 学生

- 3 市の広報やPRが不足していると感じている。若者は駅を頻繁に利用することから、市報やポスター掲示を駅構内で実施すべきと考える。デジタルサイネージなどあるとなおよい。

20代 女性 会社員・公務員

- 4 若者世代に市の課題等を認知してもらう仕組みづくりが必要だと思う。一般の人は議事録を読む機会も時間もないので、議会の内容を手軽に紹介する動画やHPがあるといいと思う。これからは担う若者世代に市政に興味を持ってもらうという大きな流れを作れば、自然と意見も集まり、段々みんなが理想とする西東京市に近づいていくのかなと思う。

30代 男性 自営業

- 5 市境(新町方面)に住んでいるが、イベントの情報など自ら収集しないと入手することができないと感じている。市内全域のイベント情報をジャンルごとに整理した一覧を作成して欲しい。

40代以上 女性 会社員・公務員



## 「その他(前ページの続き)」

### ● その他 (14件)

1	ウクライナ問題や北方領土問題、日本の移民問題などに興味・関心があり、国政をはじめ、現状の政治に不満がある。少子高齢化もどうしたらなくなるのか考えることも重要であると思う。	10代	男性	学生
2	年齢的に運動の必要性を感じ始めているので、体を動かす地域コミュニティ等があれば参加してみたい。	30代	男性	自営業
3	仕事のストレスにより、お酒やたばこに依存してしまっている。禁煙外来がある市内のクリニック等を市のHPで確認している。	30代	男性	自営業
4	自身で営んでいる会社で人員を募集したいが、なかなか若者を採用することができない。若者とマッチングできる仕組みを市に担ってもらえると嬉しい。	30代	男性	自営業
5	他のご当地キャラのように、いこいな宣伝に力を入れてほしい。いこいなを知ってもらうためのイベントを開催したらどうか。	30代	男性	自営業
6	若者の意見が反映されるように、若者の投票率をもっと上げるような政策を打ち出してほしい。少子高齢化により高齢者向けの政治主導になることを危惧している。	10代	女性	学生
7	学校以外に留学生同士が交流できる(出会える)場が欲しい。	10代	女性	学生
8	将来、年金がもらえるか分からず不安があるため、積立投資などの資産運用について興味がある。	10代	女性	学生
9	マナーが悪い人が多い。マナーへの意識を醸成するため、義務教育段階における道徳等の教育に力を入れてほしい。	20代	女性	学生
10	若者ミーティングなどの市主催のイベントや集まりについて、謝礼などがあると参加しやすくなると思う。	20代	男性	会社員・公務員
11	若者ミーティングに興味があり、是非参加してみたい。	10代	女性	学生
12	若者ミーティングなどの市の取組に興味はあるが、何か特別な意見を言わなければならない気がして、参加のハードルを高く感じている。	20代	男性	学生
13	大学生は学業やアルバイト、就活等で忙しいため、市のイベントには相当のメリットがないと参加しないと思う。謝金が出るのであれば、まだ参加してもいいかなと思う程度。昼間に参加してしまうと1日がつぶれてしまうので、開催時間帯は夜以外あり得ない。大学で専攻している学問に近いテーマであれば会議等にも参加したいと思うのではないかな。	20代	男性	学生
14	外国籍の方が増加しているので、日本語に精通していない方にも読めるような標識や地図に変えていくべきだと思う。	20代	女性	学生

## 「特に求めている」計4件

### ● その他 (計4件)

1	強いて言えば公園がもう少しあってもいいと思うが、全般的に満足している。	30代	男性	会社員・公務員
2	身の回りの生活には一切困っていないため、市に援助してもらおうとは思わない。	20代	男性	学生
3	そもそも市が何をしているのかわからないため、市に何を求めればいいのか分からない。	10代	女性	学生
4	10代の学生は、市に求めていることなどないと思う。	10代	女性	学生



## 若者ミーティングの実施

	開催日	議題等
1	令和6年5月27日	・若者ミーティングの概要について ・メンバー間の顔合わせ、アイスブレイク等
2	令和6年6月26日	・市政モニター（第1回）について ・アウトリーチの質問項目について
3	令和6年7月23日	・若者が市政に参画しやすくなる工夫・きっかけについて
4	令和6年8月21日	・他自治体で実施する若者施策について ・若者世代が市に求めていることについて① ・市政モニター（第1回）の結果について
5	令和6年9月30日	・各種調査結果について ・若者世代が市に求めていることについて②
6	令和6年10月31日	・各種取組の検討①
7	令和6年11月13日	・各種取組の検討②
8	令和6年11月22日	・市政モニター（第2回）について
9	令和6年12月10日	・各種取組の検討③
10	令和7年2月5日	・市政モニター（第2回）の結果について ・若者ミーティングからの提案（案）について



将来に対する漠然とした不安の軽減を図る取組として、他自治体でも取組を始めているライフプランニング事業について検討を行った。ライフプランニング事業は、保険会社をはじめとする民間企業でも実施していることから、西東京市と包括連携協定を締結している保険会社の若手職員と将来に対する漠然とした不安の軽減を図る取組等について意見交換会を実施した。

令和6年11月1日

### SOMPOグループの若手職員

#### 主な意見交換の内容

- ✓ 共働き世帯が増加している中で、自分も仕事と両立しながら子どもを育てられるのか不安がある。子育てに関する行政サービスについて情報を得ながら将来的なキャリアプランやライフプランについて考える機会が欲しい。
- ✓ 仕事や収入の状況がこの先も変わらず続いていくと想像すると、社会人になって一気に将来への不安が増したと思う。
- ✓ 社会人になると仕事や家庭への責任が重くなるので、学生の方が自由度が高く幸せを感じていたと思う。
- ✓ 大学生時代に保育園のボランティア活動に2週間ほど参加したことがある。大学で募集しており、友人と一緒にだったこと、子どもが好きだったことがきっかけで参加した。社会人になってからは、芸能人に会えるとか特別なイベントで、自分にとってメリットがない限りは参加しようと思わない。

令和6年11月19日

### 明治安田生命保険相互会社の若手職員

#### 主な意見交換の内容

- ✓ もっと早くから将来のライフプラン（お金のことや結婚のこと）を考えていればこれまでの行動が違ったかもしれない。30代近くになって、ようやく金融のことなどを勉強している。子どもには早くから学ばせたいと思っている。
- ✓ 子育てについては、経済面での不安と自分の時間のゆとりがなくなる懸念がある。特に経済面では、若年層の給料がなかなか賃上げされない状況の中で、物価の高騰もあり、収入・支出の両面での不安がある。将来的には子育て支援に力を入れている自治体に引越したいと思う。
- ✓ 仕事で忙しい中、地元の地域活動に参加しようとは思わない。一方で、会社の近くでやってるボランティア活動には、会社の同期と参加することがある。若者を募集するなら、近くの会社に声をかけるのが効果的ではないか。



多摩26市で実施する若者施策について

# ■ 狛江市若者支援ガイド

実施自治体： 狛江市

ジャンル： 情報発信



## 事業概要

15歳から概ね39歳までが対象

若者向けの相談機関情報が掲載されたガイドブックを作成する。



## ねらい

就労や学校や職場の人間関係、家族のこと、体のことなど若者のいろいろな悩みを受け止める相談機関を紹介する。



## 効果

相談内容に応じた窓口や市内の居場所がわかる。



## 【中野区】中野若者会議

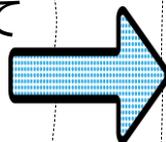
住んでいる自治体のため興味を持った。

### 概要

「情報発信×若者」、「環境×生活」、「多文化共生×コミュニティ」、「居場所×中高生」の4テーマに分かれて活動している。

### 狙い

若者ならではの視点を区政や地域に生かすとともに、若者と地域の繋がりを構築していくことを目的としている。



### 実施後の効果など

- ・各テーマごとに区外視察や研修などを行い、活動の成果等を踏まえ、区長に政策提言を行う。
- ・懇親会なども積極的に行い、地域の繋がりを図っている。





## 令和2年4月から 高等教育の修学支援新制度

高等教育の修学支援新制度

2020年4月から新しい給付奨学金・授業料等減免制度がスタート!



**対象になる学校は?**

一定の要件を満たすことを国等が確認した  
大学、短期大学、高等専門学校（4年・5年）、専門学校  
に通う学生が支援を受けられます。

**どんな学生が対象になるの?**

要件を満たす学生全員が支援を受けられます。

**世帯収入や資産の要件を満たしていること**  
住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯（※）

**進学先で学ぶ意欲がある学生であること**  
成績だけで判断せず、レポートなどで学ぶ意欲を確認

将来、社会で自立し、活躍できるよう、しっかりと勉学に励むことが大切です

**給付型奨学金の支給額は?**

第Ⅰ区分（住民税非課税世帯）の場合は、下記の額が支給されます。  
（第Ⅱ区分、第Ⅲ区分の場合は、それぞれ第Ⅰ区分の額の2/3、1/3）

給付型奨学金の支給額（年額）		（住民税非課税世帯〈第Ⅰ区分〉の場合）	
区分		自宅通学	自宅外通学
大学・短期大学・専門学校	国公立	35万円	80万円
	私立	46万円	91万円
高等専門学校	国公立	21万円	41万円
	私立	32万円	52万円

※支給額は単位未履を併せ加えています。

**世帯収入によって支援を受けられる額が変わるの?**

世帯収入に応じた4段階の基準で支援額が決まります。

4人家族（本人（18歳）・父（給与所得者）・母（無収入）・中学生）で、  
本人がアパートなど自宅以外から私立大学に通う場合の支援額（年額）

※支援額は単位未履を併せ加えています。

進学資金シミュレーター  
自分が支援の対象になるのか調べよう。

※2 多子世帯に属している場合  
1/4  
1/4

※1 私立理工農系の学部等に在籍している場合  
文系との授業料差額

年収目安 ※1  
~約270万円 (第Ⅰ区分)  
~約300万円 (第Ⅱ区分)  
~約380万円 (第Ⅲ区分)  
~約600万円 (第Ⅳ区分)

（※1）年収目安はあくまでも一例です。兄弟姉妹の数や年齢等の世帯構成などで異なります。  
（※2）多子世帯は扶養する子供が3人以上いる世帯となります。

**授業料・入学金のサポートは?**

給付型奨学金の対象者は、授業料と入学金の減免を受けることができます。  
（第Ⅱ区分、第Ⅲ区分の場合は、それぞれ第Ⅰ区分の額の2/3、1/3）

	国公立		私立	
	入学金	授業料	入学金	授業料
大学	28万円	54万円	26万円	70万円
短期大学	17万円	39万円	25万円	62万円
高等専門学校	8万円	23万円	13万円	70万円
専門学校	7万円	17万円	16万円	59万円

※上限額は単位未履を併せ加えています。

## 令和6年度 定額減税（定額による所得税額の特別控除）

### 令和6年分 所得税の予定納税における 定額減税の取扱いについて

**定額減税について**

令和6年分の所得税について、定額による所得税額の特別控除（以下「定額減税」といいます。）が実施されることとなりました。  
定額減税により、**本人分の定額減税の額（3万円）**に加えて、**同一生計配偶者や扶養親族**（詳しくは、『予定納税について』をご覧ください。）1人につき3万円が所得税額から差し引かれることとなります。

定額減税特設サイト

**予定納税における定額減税の取扱い**

**定額減税に係る減額申請について**

同封の『令和6年分所得税及び復興特別所得税の予定納税額の通知書』で通知された令和6年分の予定納税額は、第1期分から**本人分の定額減税の額（3万円）**が既に差し引かれています。  
※ 特別農業所得者の方の予定納税額については、第2期分から差し引かれています。

**定額減税のみ追加する場合**

予定納税額の減額申請書を簡易的な記載方法により、申請することができます。詳しくは、裏面をご覧ください。

**定額減税以外の理由**

定額減税以外の理由がある場合の記載方法については、このリーフレットによらず、減額申請書（裏面）の書き方や国税庁ホームページをご覧ください。  
※ 7月の減額申請を行った後、現況の変化がなければ、11月の減額申請を行う必要はありません。

**減額申請書の提出期間等**

	基準日	提出期間
7月減額申請	令和6年6月30日	令和6年7月1日（月）～ 同年7月31日（水）
11月減額申請	令和6年10月31日	令和6年11月1日（金）～ 同年11月15日（金）

※ 同封の返信用封筒をご利用ください。



## 都の主な少子化対策（令和6年度予算）

